

空の移動革命に向けた官民協議会

空の移動革命に向けた三菱電機の取組み

令和7年 8月



コミットメント

Changes for the Better

”Changes for the Better”は「常により良いものをめざし、変革していきます」という三菱電機グループの姿勢を意味するものです。私たちは、ひとりひとりが変革へ挑戦し続けていく強い意志と情熱を共有し、『もっと素晴らしい明日』を切り拓いていくことをお約束します。



社会システムを含む**12の事業分野**で
コンポーネント・システム・ソリューションを提供しています

航空分野におけるこれまでの取り組み

当社は空港管制や航空気象等のインフラ分野で、50年以上にわたりシステムやセンサーを提供してきました。空港の管制官(飛行場管制、ターミナル・レーダー管制)を支援する情報処理システム技術、空港周辺の風況観測等のセンサー技術を磨くとともに、空港運用の知見を蓄積しています。

空港管制処理システム

1975年度

ARTS:ターミナルレーダー情報処理システム
初号機納入

1991年度

TRAD:空港レーダー情報処理システム
初号機納入

2016年度

TAPS:空港管制処理システム
初号機納入 **全34官署へ展開**



[出典] <https://www.mlit.go.jp/koku/atc/howto.html>

航空機へ離陸／着陸の順序、飛行経路、高度等を指示する管制官の業務を情報処理システム技術により支える

空港気象センサー

1994年度

空港気象ドップラーレーダー 初号機納入

2014年度

空港気象ドップラーライダー 初号機納入



[出典] https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kouku/2_kannsoku/23_draw/23_draw.html#doppler

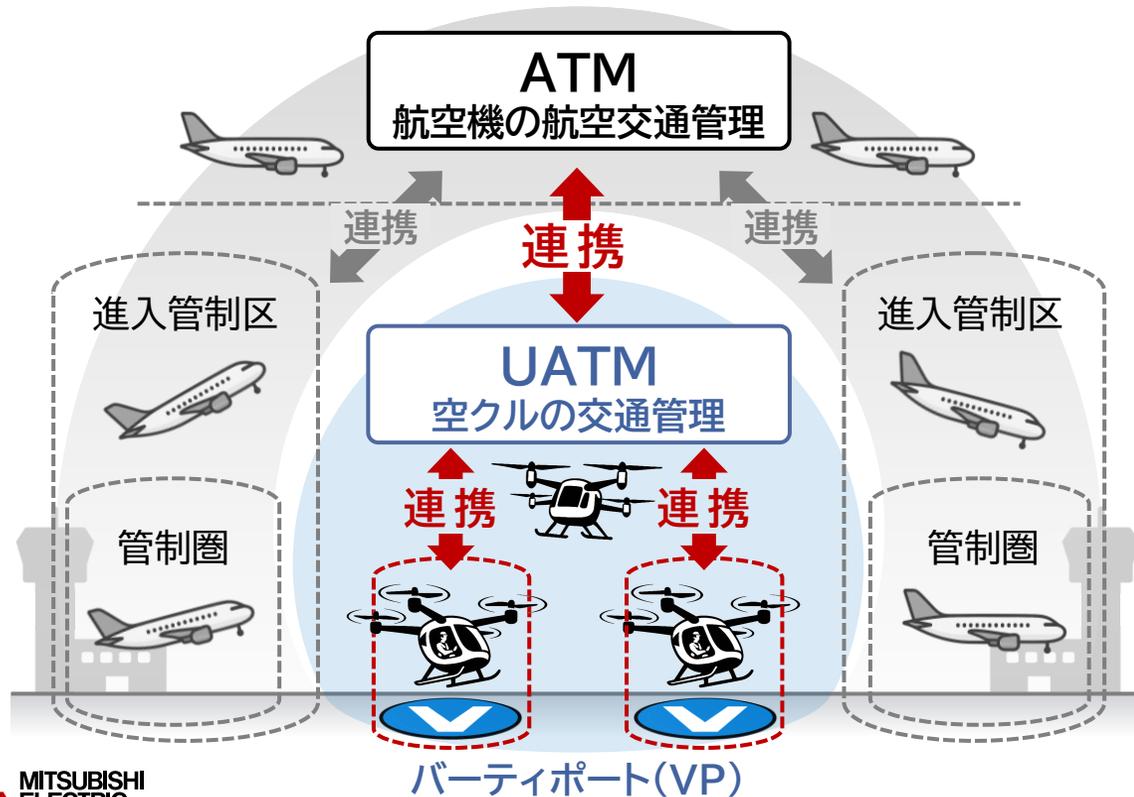
光レーザー技術により晴天時も上空の風を観測、風の急変域の情報を速やかにパイロットへ提供し、航空機の安全運航を支える

空の移動革命に向けた官民協議会への貢献ポイント

蓄積した技術・知見を活かし、ステークホルダと協調して、現行の有人航空機・ドローン・空飛ぶクルマ(空クル)が調和・融合した“将来の航空”の早期実現に貢献します。

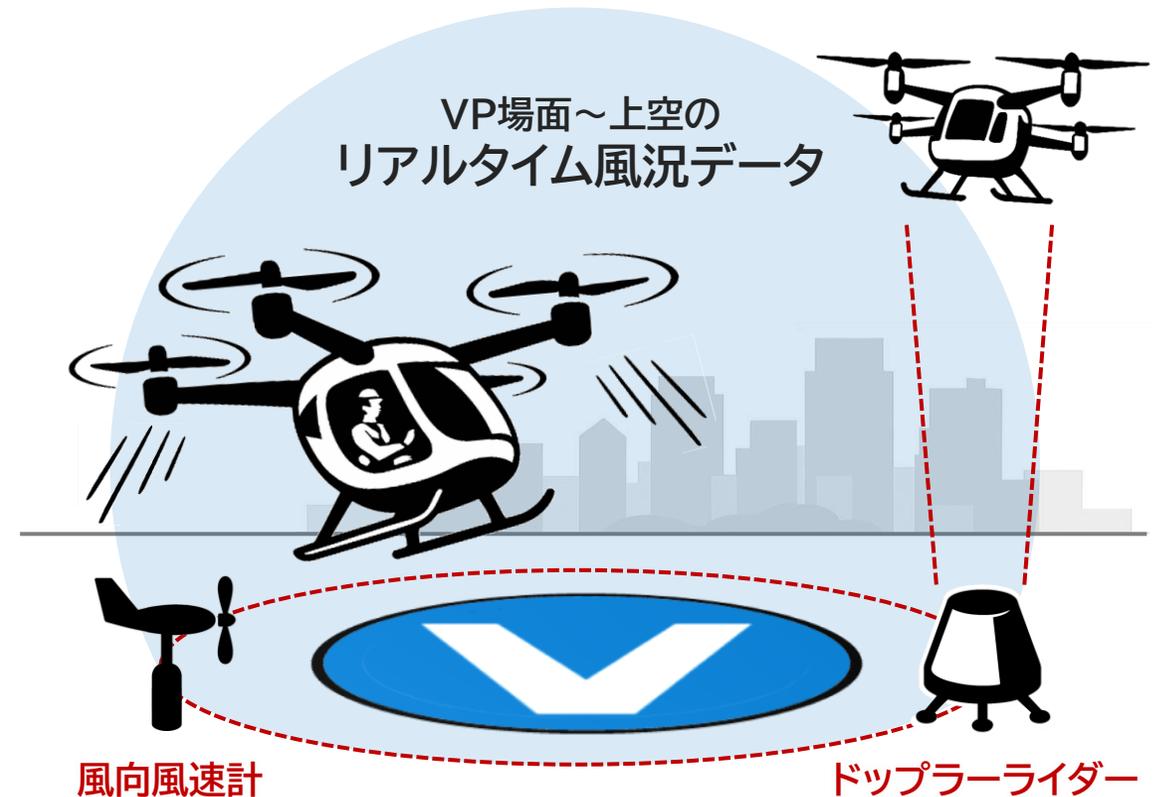
航空機と空クルの交通管理が連携した将来運用

バーティポート(VP)と空クルの交通管理(UATM)が連携、現行有人航空、ドローンの交通管理が連携する運用に貢献。



低高度の風況データ分析・活用

バーティポート(VP)場面～上空の風況データ分析・活用によって、安全・効率的なVP設計・運用に貢献。



空の移動革命に向けた近年の活動例

蓄積した知見・技術を活かし、低高度の風況データ活用による空飛ぶクルマの安全・効率的運用に向けた調査を業界ステークホルダと協調して進めてきました。

都市部における空飛ぶクルマの離着陸場利活用調査



[出典] <https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/6927/420orix.pdf>

大阪府、令和4年度、空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金
大阪市内中心部における空飛ぶクルマの離着陸場利活用に向けた可能性調査2.0

空飛ぶクルマの大阪ベイエリア航路実現性の調査



[出典] https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/pdf/230526_houkokusho01.pdf

内閣府、令和4年度、スーパーシティ及びデジタル田園健康特区において
先進的サービスの開発・構築等に関する調査事業

